



# 山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486

URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>

2016年11月8日 発行

平成28年第44週(10月31日~11月6日)

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※     :警報レベル

    :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第43週 0.47	第43週 11	第44週 5	増減 ▼	第43週 0.05	第44週 1	増減	第43週 0.60	第44週 2	増減 ▼	第43週 0.30	第44週 1	増減 ▼	第43週 0.31	第44週 1	増減 ▼	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	2329	11	5	▼	1	1		3	2	▼	3	1	▼	4	1	▼	13958
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	5273	126	98	▼	75	52	▼	6	7	▲	37	30	▼	8	9	▲	1271
咽頭結膜熱	774	4	3	▼	3	2	▼				1		▼		1	▲	657
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	5343	133	128	▼	73	68	▼				39	47	▲	21	13	▼	6064
感染性胃腸炎	16607	87	158	▲	49	96	▲	3	23	▲	20	20		15	19	▲	7265
水痘	1170	7	24	▲	5	5					2	18	▲		1	▲	450
手足口病	3352	13	9	▼	5	4	▼				2	1	▼	6	4	▼	360
伝染性紅斑	289		4	▲		4	▲										1457
突発性発しん	1425	23	17	▼	6	4	▼	3	1	▼	5	6	▲	9	6	▼	842
百日咳	58																19
ヘルパンギーナ	1009	15	23	▲	8	9	▲				2	5	▲	5	9	▲	2878
流行性耳下腺炎	3075	40	63	▲	13	20	▲	6	3	▼	21	40	▲				2611
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	2																1
流行性角結膜炎	601	1		▼	1		▼										61
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	10		1	▲		1	▲										20
クラミジア肺炎	4																4
マイコプラズマ肺炎	691	2	8	▲		5	▲							2	3	▲	125
細菌性髄膜炎	16																6
無菌性髄膜炎	26		1	▲											1	▲	13

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1				
アメーバ赤痢	患者				1	
侵襲性インフルエンザ菌感染症	患者	1				ヒブワクチン接種歴無し。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	3				肺炎球菌ワクチン接種歴:4回 1件、不明 2件。

## <通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ							1				2		1		
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
		1													5
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	16	18	34	16	6	4	2	1		1					98
咽頭結膜熱			2	1											3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	3	6	14	12	10	23	12	12	9	21	1	3	128
感染性胃腸炎			8	22	16	17	16	17	14	11	8	4	18	2	5
水痘			2		3	5	3	5	5	1					24
手足口病			3	4	2										9
伝染性紅斑				1		1							1		4
突発性発しん			8	9											17
百日咳															
ヘルパンギーナ	1	4	5	3	2	5	1	1		1					23
流行性耳下腺炎				1	2	9	14	11	12	4	3	2	5		63

<平成28年9月 月報>

2016年10月18日 更新

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～9月	
	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月		
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	14	16	3	7	7	4	1	3	3	2	167
	定点当り	1.40	1.60	0.75	1.75	7.00	4.00	0.50	1.50	1.00	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	8	4	3	1	1	1	3	2	1		53
	定点当り	0.80	0.40	0.75	0.25	1.00	1.00	1.50	1.00	0.33		
尖圭コンジローマ	報告数	2	4	1	4					1		26
	定点当り	0.20	0.40	0.25	1.00					0.33		
淋菌感染症	報告数	2	4					2		2	2	18
	定点当り	0.20	0.40					1.00		0.67	0.67	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	9	1	1		1				7	1	51
	定点当り	0.90	0.10	0.25		1.00				2.33	0.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	16	13	6	4	1	3		2	9	4	151
	定点当り	1.60	1.30	1.50	1.00	1.00	3.00		1.00	3.00	1.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

<トピックス>

【RSウイルス感染症情報】

RSウイルス感染症の県全体の定点当たり報告数が、過去5年間に比べて高いレベルで推移しています。  
報告数は減少していますが、引き続き感染予防に努めましょう。

RSウイルス感染症とは

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症で、秋から冬にかけて流行します。2歳までには、ほぼすべての乳幼児が感染するとされています。

【症状】

潜伏期間は2～8日で、症状は軽い風邪様から重い肺炎まで様々です。初めて感染した場合は重くなるといわれており、特に乳児期早期(生後数週間～数ヶ月間)にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。

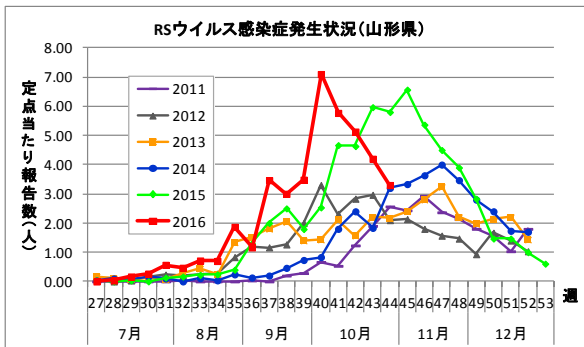
【予防法】

咳やくしゃみなどの飛沫感染、感染者との直接の濃厚接触、ウイルスが付着した手指や物を介した間接的な接触で感染します。

マスクの着用、子供たちが日常触れるおもちゃ、手すり等はアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒し、手洗いをこまめに行うことが大切です。

(参考URL : 厚生労働省 RSウイルス感染症Q&A

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html) )



【インフルエンザ情報】

1 定点医療機関情報(第44週)

迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数

村山地区:A型 1件

最上地区:A型 2件

置賜地区:A型 1件

庄内地区:A型 1件

2 インフルエンザウイルス分離状況(衛生研究所 11月2日現在)

今シーズン、県内では、AH1pdm2009型 2株、A香港型 1株が分離されています。

インフルエンザは、毎年、冬に流行し、私たちの健康に大きな影響を及ぼす代表的な呼吸器感染症です。感染力が強く、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡大します。

手洗いでインフルエンザを予防し、かかったら、マスク等咳エチケットを心がけましょう。

こまめな手洗いとマスク着用を心がけ、体調管理に努めましょう。「かかったかな」と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

